

3種類の配送センターから、 最適な温度で商品を迅速に配送します

商品はお取引先から配送センターに入荷すると、配送センターで店舗ごとに仕分けられて配送されます。配送センターの集約と一括配送の徹底によって輸送の効率を高めています。

チルド商品の配送では、1台の車輻に間仕切りをして2つの異なる温度帯の商品を運ぶことができる「二室式二温度帯管理車輻」を使い、牛乳など10℃以下の商品と、米飯など20℃の商品を同時に配送しています。

配送センターの役割

入荷・出荷時の検品機能

入荷した商品は、入荷日や出荷期限などの情報を管理して保管されます。この情報に基づき出荷時には、期限切れの商品が誤って配送されることがないように、コンピュータや専用の台帳による検品を行っています。

米飯類と乳製品・デザート等の商品は、センターに保管することなく、メーカーや工場から入荷するとすぐに仕分けられて店舗に配送されます。

衛生管理

配送センター内は常に清潔に保たれています。従業員の健康管理やセンター内での衛生基準の遵守も徹底しています。

米飯類と乳製品・デザート等の商品配送に使用するコンテナを毎日洗浄を行い、衛生管理には万全を期しています。

作業手順

入荷から出荷までの仕分けや積み込みなどの一連の作業は、所定の温度や時間が守られるように、決められた作業手順に基づき効率的に行われています。

温度帯物流

配送する商品の温度によって、3種類の配送センターがあります。各センターから、商品を最適な温度に維持しながら迅速・適正に配送しています。

●常温商品（菓子類や調味料などの加工食品）

DDC (Dry Distribution Center)

常温商品を取り扱う共同配送物流基地。一部チョコレート商品は温度管理して納品しています。

●チルド商品（米飯類、乳製品、デザート等）

CDC (Chilled Distribution Center)

品質保証期限が短い米飯類（20℃管理）と乳製品・デザート等（10℃以下管理）の商品を取り扱う共同配送物流基地。1日に3回店舗にお届けしています。

●冷凍食品

FDC (Frozen Distribution Center)

冷凍（-22℃以下管理）食品を専門に取り扱う物流基地。

配送時の温度管理

配送時、チルド商品を配送する車輻の運転席に設置した温度計で庫内の温度を常にチェックし、規定の温度をオーバーするような異常が起きた場合はすぐにドライバーからセンターに連絡が入るようになっていました。また、各車輻には品温計も設置しており、異常があった場合には温度を測れる体制にしています。



運行管理システム

すべての配送車に最新鋭のコンピュータシステムを搭載し、店舗への定時配送、商品の温度管理を徹底しています。これは移動体通信網を利用し、配送車輻情報を本部およびセンターが集中管理する仕組みで、配送車の温度状況、運行ルート、所要時間、店舗での滞在時間およびそのと

きにエンジンを切っていたかどうかまで、あらゆるデータを本部で迅速に把握することができます。運行管理システムによる定時配送、温度管理の徹底は、品質管理の上で役立つだけでなく、無駄な走行やアイドリングを防ぎ、環境負荷の低減にも貢献しています。



共同配送の推進や低公害車の導入で環境負荷を低減します



共同配送の推進による車輛削減

常温商品の物流では従来の中継基地を新型の物流基地にすることで、全国14カ所のセンターを削減しました。その結果、配送車輛325台を削減することができました。



車輛台数の低減

共同配送の取り組みにより、1店舗に到着する納品車輛の台数を、1日あたり平均7.6台にまで減らすことができました。ローソンは、コンビニエンスストア業界で最も削減が進んでおり、7.6台は業界最高水準です。今後、さらなる削減を目指して改善を進めていきます。

トラックの台数
1日あたり平均



配送時の環境配慮・消音への取り組み

●消音手押し台車の導入

手押し台車の金属製キャスターを金属製からオール樹脂製に改良する方法で、消音台車を開発しました。2002年2月末までにチルド商品、冷凍商品配送車全車に導入し、継続して消音に努めています。

●消音ラッシングベルトの開発

常温商品配送車輛の内部にラッシング（締上げ用）ベルトを使用しております。ローソンでは、ベルトを解除するバックルを改良した消音ラッシング（締上げ用）ベルトを開発しました。2002年2月末より全車に導入し、消音を心がけています。

●消音カーゴ台車の導入推進

カーゴ台車の金属パイプの共鳴音に対し、金属パイプを2重構造に改良することにより、消音カーゴ台車を開発。2003年度の導入台数は2500台になります。

低公害配送車の導入

1997年には低公害の天然ガス配送車を業界で初めて導入し、2003年度は、累計で67台に達しました。

今後は、次世代の低公害配送車として天然ガス配送車より環境負荷が少なく、かつ広域配送に適したハイブリッド車の導入を推進していきます。



排ガス規制

東京都をはじめ、排出ガスを制限する条例が各自治体で施行されています。ローソンでは、すべての自治体、すべての車輛で規制をクリアしています。

アイドリングストップ

配送車すべてに運行管理システムを搭載し、アイドリングストップを徹底しました。さらにドライバーはキーロープを付け、キーを抜かないと配送車から降りられない仕組みになっています。



ドライバーズマナーキャンペーン

店舗のクルーと同様に、配送ドライバーもローソンの顔です。年2回、「ドライバーズマナーキャンペーン」を実施して、マナーの向上に努めています。交通法規や運転マナーの厳守、お客さまへの挨拶の徹底、身だしなみなどにより、アイドリングストップの徹底や、騒音の防止など環境に配慮した行動も徹底しています。

